

## 「南阿蘇高濱塾」道場開きと熊本合宿

昭和 44 年卒 二村 雄次

高濱師範のかねてからの念願であった高濱塾道場の建設が順調に進み、平成 20 年 9 月 21 日に「南阿蘇高濱塾」の竣工の日を迎え、それを機会に熊本合宿が行なわれた。

柔道部員は高濱師範、瓜谷部長、小椋OBらの引率の下、前日レンタルバスで名古屋を出発し、早朝熊本へ到着。朝練習を鎮西高校で済ませてから、阿蘇まで移動するという強行軍であった。大型車の運転経験のある半田市亀崎の石川謙一郎先生は奥様と一緒にご参加になられたが、バス運転手としての大役をこなされた。瓜谷部長・小椋OBらとの交代運転であったと聞いたが、大役を買って出られたお気持ちに驚きと感謝の念が交錯した。

私は前日の 20 日(土)は学会と重なってしまったので、21 日(日)朝の便で、桜丘高校の河合孝先生と一緒に福岡まで飛んだ。福岡空港では高濱先生、河合先生とお知り合いの柔道関係者(福岡市消防局の清水昭智様)のお出迎えを受け、南阿蘇まで車でお送りいただいた。この一大イベントに多くの人に関わっていることが感じられた。福岡空港では大雨であったが、阿蘇に近づくと雨も小降りとなり、南阿蘇の山中に入ると突然雨が止んだ。そして曇天もみるみるうちに晴空へと変わり、周囲の阿蘇の山々が姿を現し、この盛大な催しを祝い、地元の方々ばかりでなく、愛知県から掛けつけた多くの柔道関係者を気持ちよく迎え入れてくれているように感じた(写真1)。

高濱塾道場は 2 階建てで山村に際立って真新しい白壁と黒瓦が印象的であった(写真2)。道場開きの式典では南阿蘇の村会議員および村の近隣の方々、高濱先生の鎮西高校・拓殖大学時代の柔道関係者、愛知国際柔道自然塾の高嶋敬塾長、愛産大鈴木・土川監督、石川先生ご夫妻、東大鏡先輩、そして名大関係者と道場一杯になった。道場正面には高濱先生の恩師牛島辰熊先生の写真と覚書が額に納められ、その両側に鎮西時代の恩師船山先生そしてご両親の写真と高濱塾関係者各位の名札が並び塾の精神がひたひたと伝わってくる感じがした(写真 3、4)。また高濱塾の看板には「青少年健全育成」の文字が刻まれており、これも柔道に対する高濱先生の真の想いが込められていた。

式典の後、打ち込み練習に続き、熊本の秋本先生、鹿児島島の鮫島先生による立技の指導などが行なわれた。練習後、道場前の庭で地元の方々が総出で準備をしていた盛大なバーベキューパーティーが開催された(写真 5)。夜は全員で近くの温泉までバスで出掛け、阿蘇の大地から湧き出る温泉の底力を肌で感じた。翌朝はお父様の家の周りで栗拾いをした後、バスで熊本大学まで出掛けて合同練習を行い、五高記念館では五高第3代校長をされた嘉納治五郎先生の記録などを見学した。23日の済々黌高

校の大道場での熊本県下進学校の柔道部員を集めた大合同練習には九大柔道部員及び九大OBの方々が参加された。将来七大学へ入学して柔道を続けるように各高校柔道部員に勧誘をする機会にも恵まれ、有意義な合同練習となった(写真 6)。23 日の夜は藤主将以下九大柔道部員も急遽阿蘇まで同行して高濱塾に泊まって親交を深めることができ、今回の熊本合宿は現役部員にとってはかけがえのない体験になったであろうし、様々な意味で大きな収穫のある行事となった。この企画とその隅々までご配慮を下さった高濱先生、大役を買って下さった石川先生ご夫妻、河合先生への感謝の気持ちで一杯である。最後に瓜谷部長、小椋OBバスの運転お疲れ様でした。



写真 1. 晴れだした阿蘇の山々をバックに高濱師範とのツーショット



写真 2. 南阿蘇高濱塾



写真 3. 牛島先生、船山先生の魂の込められた高濱道場



写真 4. ご両親のご遺影と名札



写真 5. 高濱塾前でのバーベキューパーティー



写真 6. 熊本の高校生との合同練習